

京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想 (素案)

網野庁舎については、旧網野町役場として昭和43年6月に竣工し、平成16年4月の6町合併による京丹後市発足後も分庁舎方式により、庁舎として活用されてきました。約50年の間、市民の方々に親しまれてきましたが、経年による老朽化により網野庁舎の解体を決定し、平成30年12月に解体の実施設計に着手。令和2年6月に解体工事が完了しました。

一方で、跡地の有効活用について市から区長会へ検討を依頼。平成30年4月に網野町区長連絡協議会に「庁舎・跡地検討チーム」が発足。その後、「庁舎・跡地検討チーム」を展開解消し、あみのみんなのスペース未来ラボ（通称：あみラボ）が発足。検討を重ねた結果、最終的に、網野町区長連絡協議会が網野庁舎跡地活用構想（提言）をまとめ、令和2年3月に市長に提言書を提出しました。

本市を取り巻く状況は、人口減少や少子高齢化の進行、空家の増加、若年層の流出（進学や就職で離れたまま帰ってこない）などの課題がある中、網野庁舎の取り壊しにより中心市街地に広大な空き地が出現し、更に活気を欠く状況となっています。

しかし、網野庁舎跡地の出現は、地域拠点として活用することで近隣施設との相乗効果により地域の賑わいを創出できるチャンスでもあります。当該跡地は網野町の中心市街地に位置し、近隣には金融、郵便、医療機関、スーパー、小規模店、地場産業振興センター、市民局、図書館、体育センターなど、日常生活に必要な諸機能が集積している立地のため、地域の方が集まりやすく利便性のある場所となっています。

そこで、網野庁舎跡地について、地域拠点としての活用を検討し、京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想を策定するため、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議を令和3年10月に設置。検討会議では、網野町区長連絡協議会から提出のあった網野庁舎跡地活用構想（提言）を踏まえながら、整備内容や施設を活用した地域の活性化について検討を行い、基本構想をとりまとめました。

網野庁舎跡地は中心市街地に位置し、アクセスしやすい立地となっている。

<位置図>



<網野庁舎跡地及び周辺図>



※網野庁舎跡地 7,376.17 ㎡（台帳面積）

(1) 跡地活用の基本理念

人口減少、核家族化が進み世代間や地域間のつながりの希薄化や、進学や就職により転出した若年層が帰ってこない状況を踏まえ、幼少期からの「ひと」とのつながりや関わりを大切にして郷土愛を育み、故郷に帰る原動力につなげていく場所、市内外の「まち」をつなげて交流人口・関係人口の増加を目指していく場所、網野銚子山古墳に代表される「歴史」文化などの地域資源とのつながりを発信していく場所として、跡地活用の基本理念を次のとおり定めます。

「ひと」と「まち」と「歴史」がつながり

“いきいき” “わくわく” まちの未来を育む交流拠点

(2) 施設整備の基本方針

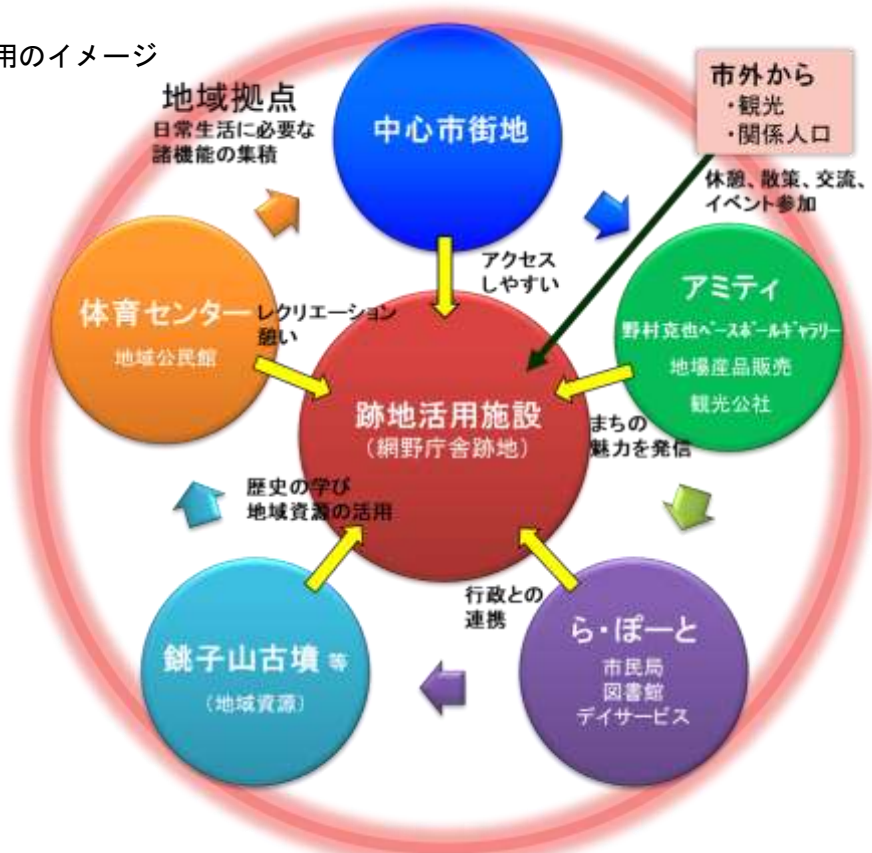
跡地活用の基本理念を具現化するため、施設整備の基本方針を次のとおり定めます。

- ① まちの協働・共創と学び合いの場
- ② 多世代交流（子どもからおじいちゃん・おばあちゃん）の場
- ③ 子育て親子の交流と遊びの場
- ④ 高校生や若者が未来へとチャレンジする場
- ⑤ まちの歴史と魅力を発信する場

(3) 跡地活用のイメージ

網野町の中心市街地に位置し、アクセスしやすく、近隣施設との連携により相乗効果が図れる立地です。跡地活用のイメージを示します。

① 施設利用のイメージ



交 流

- 多世代交流の場
- 子育て世代の交流の場
- 住民自らが地域について話し合える場

賑 わ い

- 来る人がワクワクして集える場
- 子どもが安心して遊べる場
- 目的に合わせた多様な使い方ができる場

チャレンジ

- 若者等のアイデアを実現に向けてチャレンジできる場
- チャレンジしたい人とサポートとしてくれる人を繋げる場

観 光

- 魅力あるまちを発信する場
- 市外の人にも気軽に来てもらえる場
- 交流人口、関係人口を創出する場

歴 史

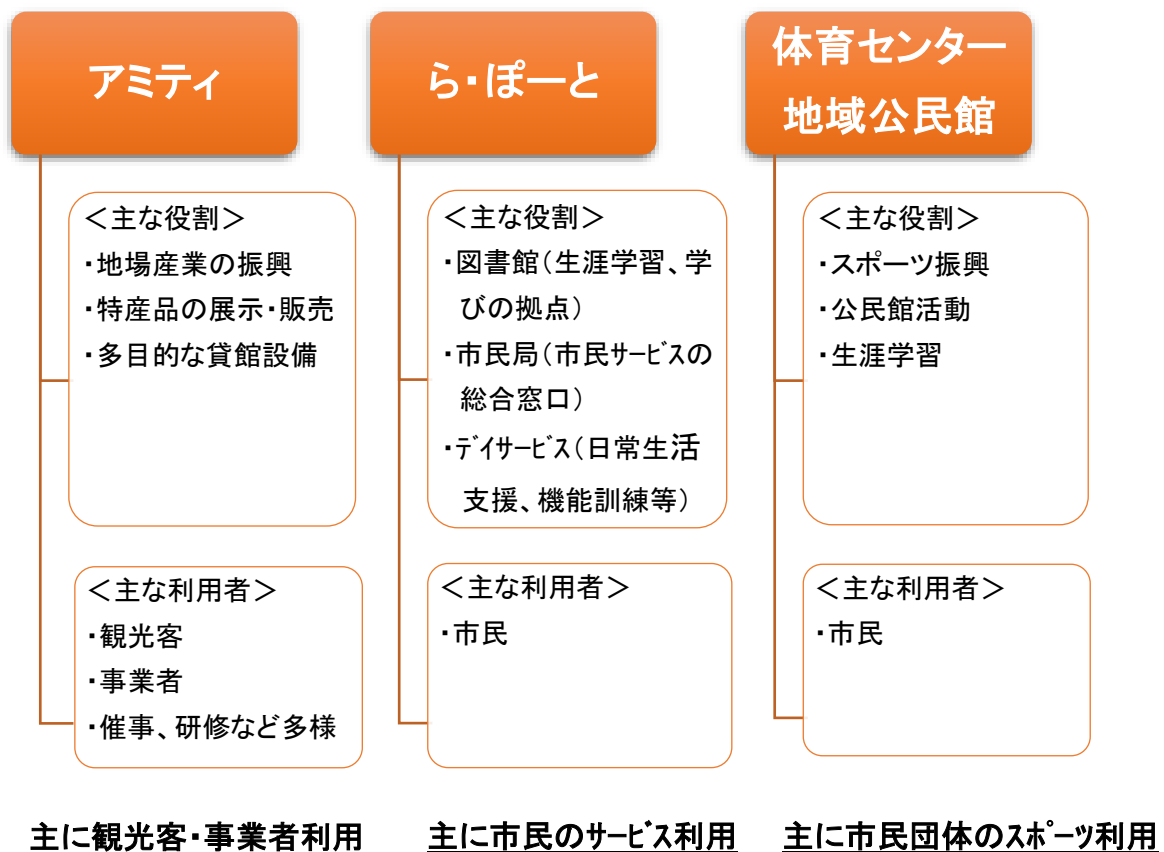
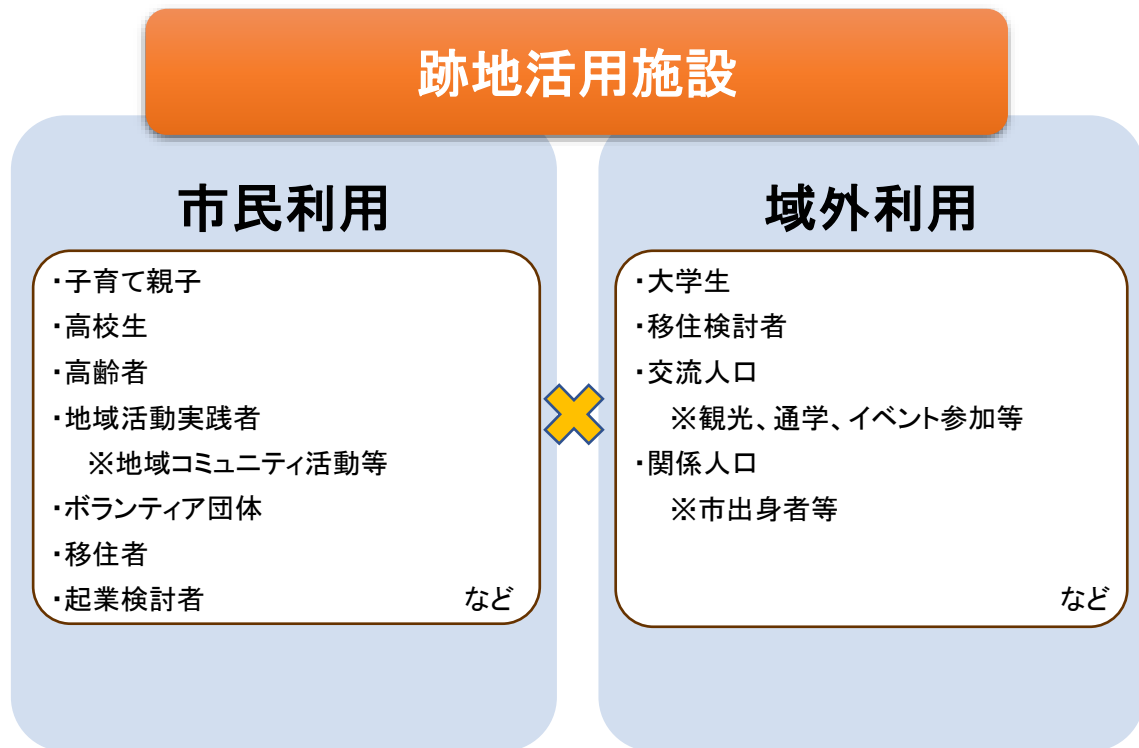
- 網野銚子山古墳等の地域資源を活用する場
- 歴史文化の学びの場

運 営

- 将来を見据えた持続可能な運営
- 各種団体 × 行政

②施設利用者のイメージ（ターゲット層）

子どもから高齢者まで多世代をターゲットとし、憩い、学び、挑戦といった様々な角度から利用できる「多世代交流拠点」として活用することで、交流から生まれる“いきいき”“わくわく”を活力に、まちの活性化を図ります。



(4) 跡地活用施設の内容

跡地活用の基本理念、施設整備の基本方針を踏まえ、整備する施設を「(仮称) 市民交流広場」と「(仮称) 市民交流センター」とし、施設の機能・設備については、今後進める基本計画・基本設計の中で、建築等の専門的知見、利用者の利便性や周辺施設との連携、整備面積、整備費用などを総合的に勘案し、各機能・設備を決定していくこととします。

また、施設整備の際には、網野町のシンボリック存在である網野銚子山古墳がイメージできるような工夫を検討することとし、まちの地域資源を活用します。

施設の整備イメージ

<屋外>

○あみの広場

『子ども“遊び”スペース』

『スポーツ“エンジョイ”スペース』

『ころとからだの“くつろぎ快適”スペース』

<屋内>

○親子同士楽しめる『子育て交流スペース』

○いろいろな活動や打合せができる『コミュニティルーム』

○パソコンを持って気軽に寄れる『コワーキングカフェ』

新しい働き方にも対応し、利用者同士のコミュニケーションも生まれる

○みんながチャレンジする『あみのスペース』

出会い、交流、音楽、ダンスなどみんなが自由に使える交流・チャレンジスペース

○みんなで使える『あみのキッチン』

料理教室からご飯会など食を通した交流スペース

○まちの魅力と歴史を発信『あみのコンシェルジュ』

施設・設備の検討例

① (仮称) 市民交流広場

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
交流 賑わい	子育て世代や多世代の交流を図り、地域の子ども達が安心して遊べる場、また、来る人がワクワクして集える場の創出。	・スポーツ施設 (3X3 バスケットコート・ボルダリング・スケートボード) ・遊具施設 (屋根付き遊具) ・芝生広場 (ベンチ、夜間照明) ・緑化スペース (桜、紅葉) ・屋外ステージ ・E V 充電スペース ・朝市スペース ・W i - F i 設備

順番を入替

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
チャレンジ	アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場の創出。	・ コンテナハウス (キッチンカースペース)
観光	市外の人にも気軽に来てもらえる場にするこで、交流人口、関係人口を創出。	・ 駐車場、駐輪場 ・ バスターミナル

②（仮称）市民交流センター

視点・機能	目 的	施設・設備の検討例
交流 賑わい チャレンジ	子育て世代や多世代の交流を図り、住民自らが地域について話し合える場など、多様な使い方ができる場を創出。また、アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場を創出。	・ 子育てスペース、母親交流スペース ・ 交流スペース（憩いのスペース） ・ I Tスペース (プログラミング学習、コワーキング) ・ スタジオ（防音、音響設備） ・ フリースペース ・ 網野版 roots ・ 講座、集会室
観光 歴史	魅力あるまちを発信する場であり、網野銚子山古墳をはじめとしたまちの誇る地域資源や歴史文化を発信する場を創出。	・ 網野銚子山古墳を望む展望台 ・ 歴史展示スペース ・ E バイク、レンタサイクル
運営 コーディネート	集い交流する場として市民の参画による運営を目指すとともに、積極的な交流や連携を促す。	・ ユニバーサルデザイン ・ エレベーター ・ W i - F i 設備 ・ 音響設備 ・ カフェ等の公募（自動販売機） ・ 管理事務室の設置

③その他

網野庁舎跡地の敷地内にある消防車庫について、現況の位置では跡地活用に支障をきたすことが考えられるため移転することとし、敷地内での移転を優先的に計画することとします。また、敷地内にある積雪計、地震計、都市下水路ポンプ施設については、現況の位置のままだも跡地活用への影響は少ないと考えられるため、存置する予定とします。

交通アクセスについては、敷地内にバス停の設置を検討するとともに、都市拠点と地域拠点を結ぶ交通アクセスと地域内の交通アクセスのあり方について、利用者の利便性が図られるよう引き続き検討していきます。

なお、旧網野幼稚園についてはこの基本構想には含めないものの、そのあり方についても検討していきます。

(5) 敷地エリアと建物の想定面積

対象用地を下記のとおり①、②のエリアに分け、それぞれに適した施設の配置、整備を検討します。また「(仮称) 市民交流センター」の延床面積については1,200 m²程度を想定した整備を検討していきます。



① (仮称) 市民交流センター・駐車場・消防車庫等エリア (約 3,940 m²)

② 遊具・芝生広場等エリア (約 3,040 m²)

(6)事業方法

①施設運営について

効果的な施設運営として、民間事業者のノウハウを活用して経費の縮減や利用者のニーズに対応し、質の高いサービス提供が期待できる「公設民営」など、市民主体の施設運営が行えるよう地域団体・組織等と検討を行います。

②市民の参画

基本設計等業務の委託業者の選定については、プロポーザル方式による選定を予定し、選定過程や設計段階における市民の参画を検討します。

③共用開始までの期間の活用について

供用開始までの期間を活用して、網野庁舎跡地等を利用したイベントなどの実施を検討し、地域住民の参画や機運醸成を図ります。

(7)事業スケジュール

事業は庁舎増築棟整備にかかる網野庁舎別館の解体スケジュールに関係することから、事業スケジュールは現時点での予定であり、今後、変更となる場合があります。

スケジュール表を
見やすくしました

事業スケジュール（予定）

	R3	R4	R5	R6
○基本構想				
○基本計画・基本設計				
○実施設計				
○建設工事				

(参考) 合併特例債活用期限	
-------------------	--

- 資料 1 京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議設置要綱
- 資料 2 網野庁舎跡地活用構想検討会議委員名簿
- 資料 3 網野庁舎跡地活用構想検討会議 開催状況
- 資料 4 令和2年度まちづくりに関するアンケート結果（抜粋） ※中学生・高校生
- 資料 5 網野庁舎跡地活用構想（提言）

○京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議設置要綱

令和 3 年 7 月 1 2 日

告示第 2 1 5 号

改正 令和 3 年 8 月 3 0 日告示第 2 3 0 号

(設置)

第 1 条 京丹後市旧網野庁舎の跡地について、地域拠点としての活用を検討し、京丹後市網野庁舎跡地活用構想を策定するために、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 検討会議の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 京丹後市網野庁舎跡地活用構想の検討及び策定に関すること。
- (2) 前号に定めるもののほか、京丹後市網野庁舎跡地活用に関すること。

(組織)

第 3 条 検討会議は、委員 1 4 人以内とし、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 網野町区長連絡協議会の委員
- (2) 文化、子育て、女性活躍等に関する団体その他公共的団体等の代表者又は役職員
- (3) 網野町区長連絡協議会から推薦のあった者
- (4) 知識経験を有する者
- (5) 前 4 号に定めるもののほか、市長が特に適当と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、市長が委嘱した日から 2 年以内とする。ただし、市長が必要と認めるときは、その任期を延長することができる。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 検討会議に委員長 1 人及び副委員長 2 人以内を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、検討会議を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 検討会議の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 検討会議は、委員定数の3分の2以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 検討会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、検討会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 検討会議の庶務は、市長公室網野市民局において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和3年7月12日から施行する。

(最初の検討会議の招集)

- 2 第3条第1項に規定する委員をもって組織される検討会議の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則 (令和3年8月30日告示第230号)

この告示は、令和3年9月1日から施行する。

京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議 委員名簿

(敬称略)					
	分 類	所属団体	役 職	氏 名	備 考
1	網野町区長連絡協議会	網野町区長連絡協議会	会長	柴田 隆行	副委員長
2		網野町区長連絡協議会	副会長	足達 純一	
3	網野町区長連絡協議会から推薦のあった者	網野町区長連絡協議会から推薦のあった者	前区長	沖佐々木 義久	
4		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		松本 昌子	
5		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		濱岡 文子	
6		網野町区長連絡協議会から推薦のあった者		小林 朝子	
7	商工関係	京丹後市商工会	理事	森 政博	
8	観光関係	京丹後市観光公社	理事長	齊藤 修司	
9	社会福祉関係	京丹後市老人クラブ連合会 網野支部	女性委員長	山崎 慶子	
10	文化関係	京丹後市文化協会	副会長	田中 匡代	
11	子育て関係	網野小中一貫校PTA	副代表	志水 美咲	
12	女性活躍関係	京丹後市女性連絡協議会	会長	梅田 豊子	副委員長
13	その他公共的団体等	一般社団法人 京丹後青年会議所	未来創造委員会 委員	中川 正樹	
14	学識経験者	福知山公立大学 地域経営学部	准教授	杉岡 秀紀	委員長

網野庁舎跡地活用構想検討会議開催状況

	開催日・場所	内 容
第 1 回	令和 3 年 1 0 月 1 1 日 (月) アミティ丹後 研修室 A・B	・これまでの経過について ・検討会議の役割と開催スケジュール ・公共施設（市民参加・協働・コミュニティの視点）について話題提供
第 2 回	令和 3 年 1 1 月 2 2 日 (月) アミティ丹後 研修室 A・B	・第 1 回検討会議意見の報告 ・網野庁舎跡地活用構想（提言）について意見交換 ・跡地活用施設の整備内容について意見交換（ワークショップ形式）
第 3 回	令和 3 年 1 2 月 2 7 日 (月) アミティ丹後 研修室 A・B	・「まちづくりグランドデザイン推進事業」におけるその他の検討会議の進捗状況 ・第 2 回検討会議意見の報告 ・京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討
第 4 回	令和 4 年 1 月 2 4 日 (月) アミティ丹後 研修室 A・B	・第 3 回検討会議意見の報告 ・京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想（素案）の検討

◇京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査結果

I 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査目的

京丹後市まちづくり委員会の提言に基づき、将来の京丹後市を担う18歳未満を代表して、京丹後市に住む中学3年生を対象とした、京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査を行い、ふるさとに対する意識、将来の定住や職業への意向、まちづくりに対する意見やアイデアを把握するため実施しました。

(2) 調査対象及び回収結果

調査対象	市内の中学3年生
調査方法	各中学校での配布・回収
調査時期	令和2年12月

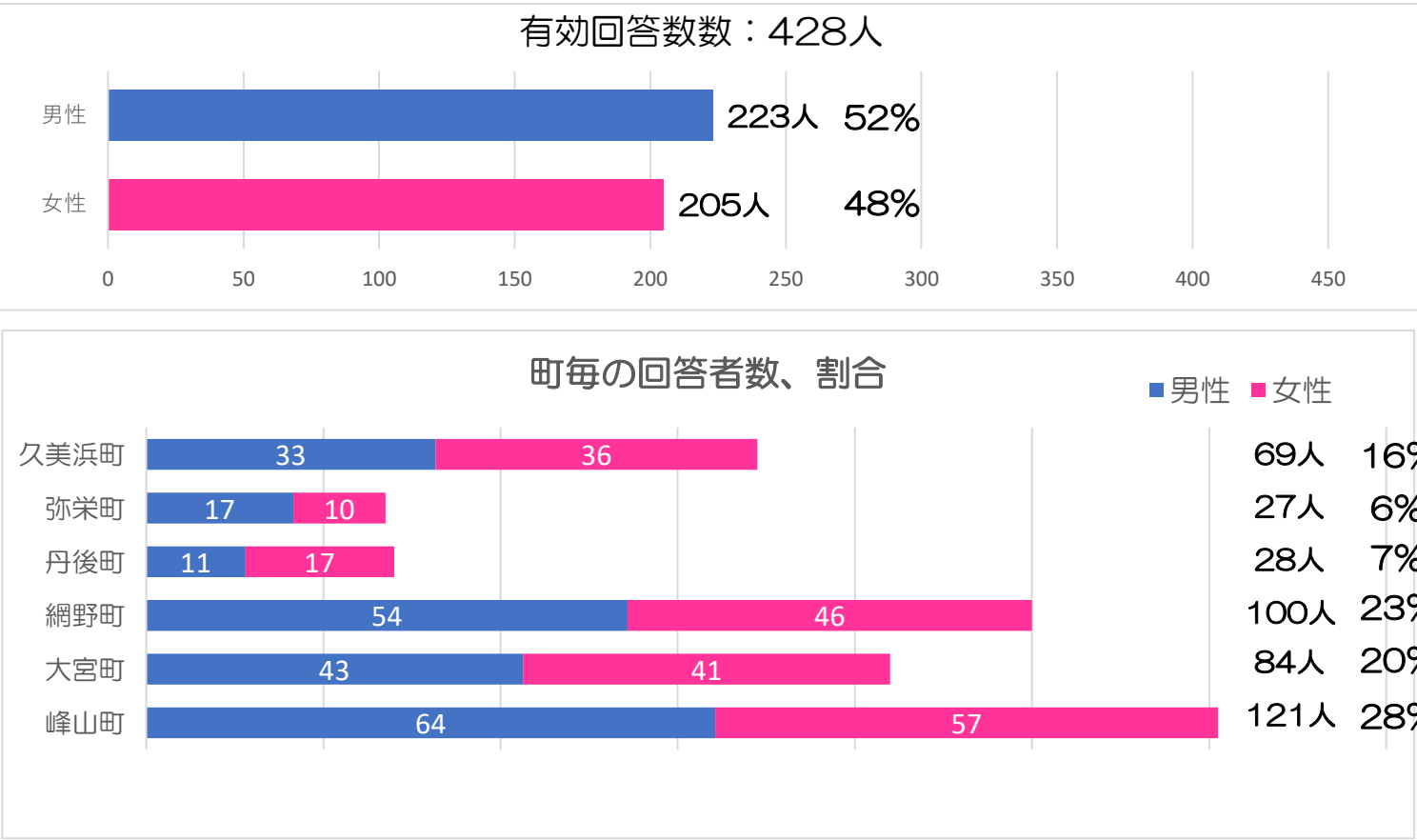
前回：令和元年12月実施

(3) 配布数及び回収結果

配布数	462 人
有効回答者数	428 人
有効回答率	92.6%

2. 回答者の属性

回答者462人の属性は、「男子：223人」（52%）、「女子：205人」（48%）となっており、町毎の回答人数は以下のとおりとなっております。



II アンケート調査結果について

1. 調査結果

(1) 京丹後市が好きか

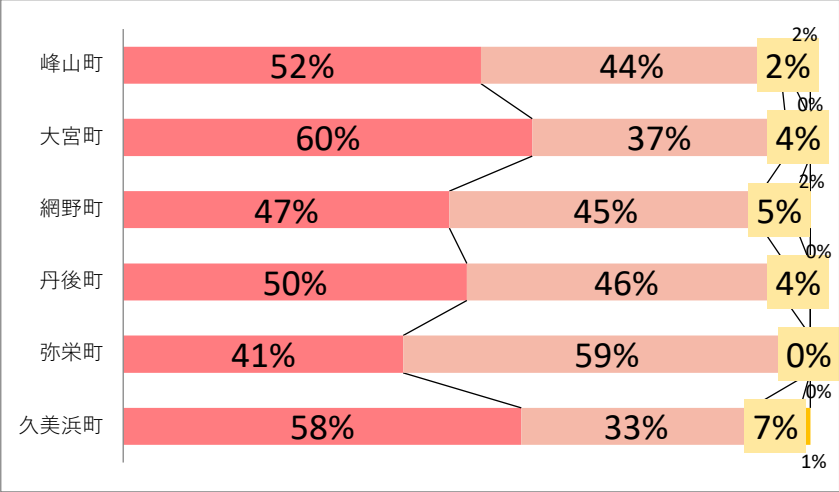
問1 あなたは、京丹後市が好きですか。

“好き”「53%」+ “まあまあ好き”「42%」= 「95%」
⇒ **9割が京丹後市が好きと回答**

京丹後市に対する愛着度を把握するため、「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

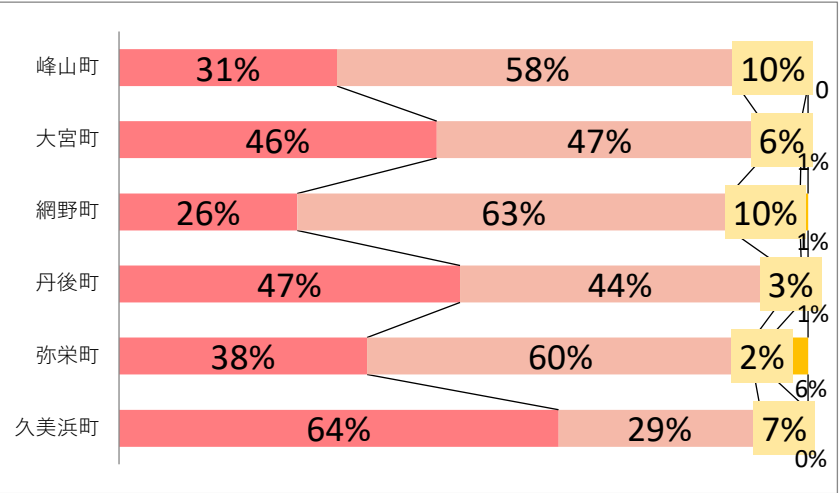
その結果、「好き」と答えた人が、53%で最も多く、次いで、「まあまあ好き」と答えた人が42%で、これらを合わせた**“好きだ”という人が95%と、9割以上に達しています。**これに対し、**“好きではない”**（「あまり好きではない」（4%）、「好きではない」（1%）の合計）と答えた人は**5%と1割を切っており**、前回調査と同様、今年の内市内中学3年生もふるさとへの**愛着度はかなり高い**結果となりました。

R2		好き		好きではない	
		95%		5%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	121	52%	44%	2%	2%
大宮町	84	60%	37%	4%	0%
網野町	99	47%	45%	5%	2%
丹後町	28	50%	46%	4%	0%
弥栄町	27	41%	59%	0%	0%
久美浜町	69	58%	33%	7%	1%
計	428	53%	42%	4%	1%



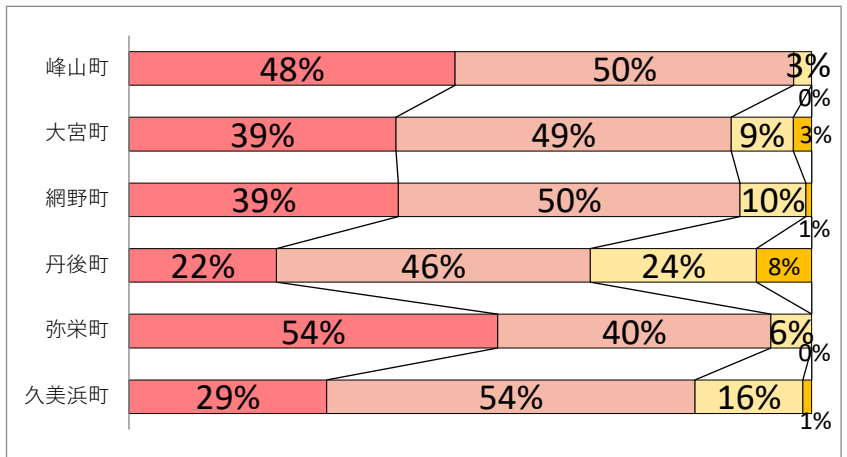
【参考：令和元年度調査分（R1. 11月実施）】

R1		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	99	31%	58%	10%	1%
大宮町	89	46%	47%	6%	1%
網野町	108	26%	63%	10%	1%
丹後町	34	47%	44%	3%	6%
弥栄町	42	38%	60%	2%	0%
久美浜町	58	64%	29%	7%	0%
計	430	39%	52%	8%	1%



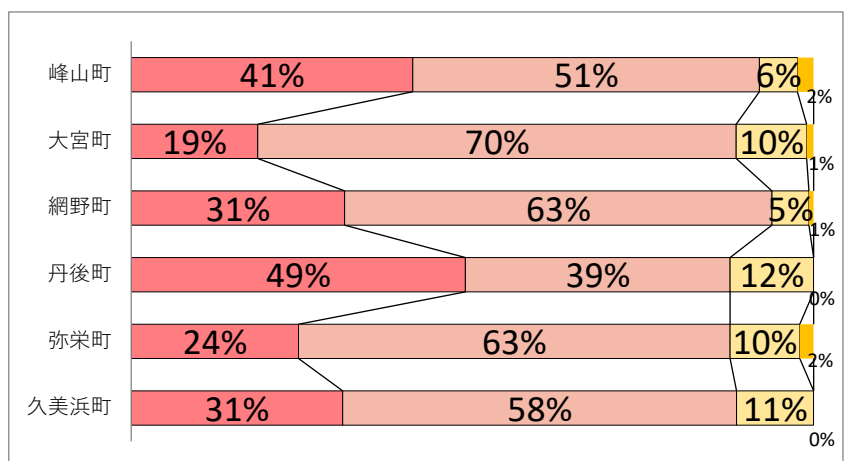
【参考：平成30年度調査分（H30.12月実施）】

H30		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	99	31%	58%	10%	1%
大宮町	89	46%	47%	6%	1%
網野町	108	26%	63%	10%	1%
丹後町	34	47%	44%	3%	6%
弥栄町	42	38%	60%	2%	0%
久美浜町	58	64%	29%	7%	0%
計	430	39%	52%	8%	1%

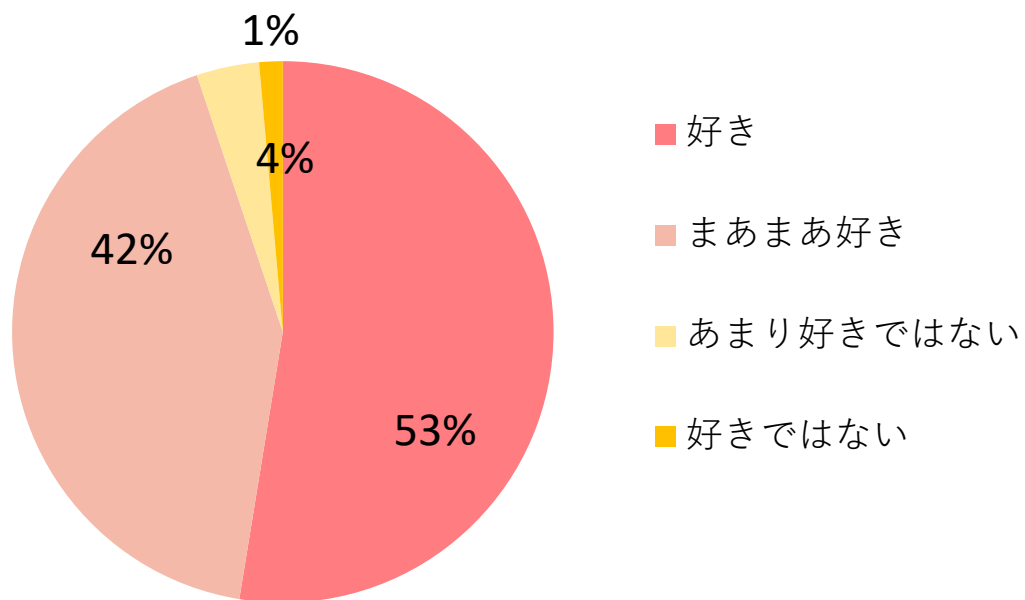


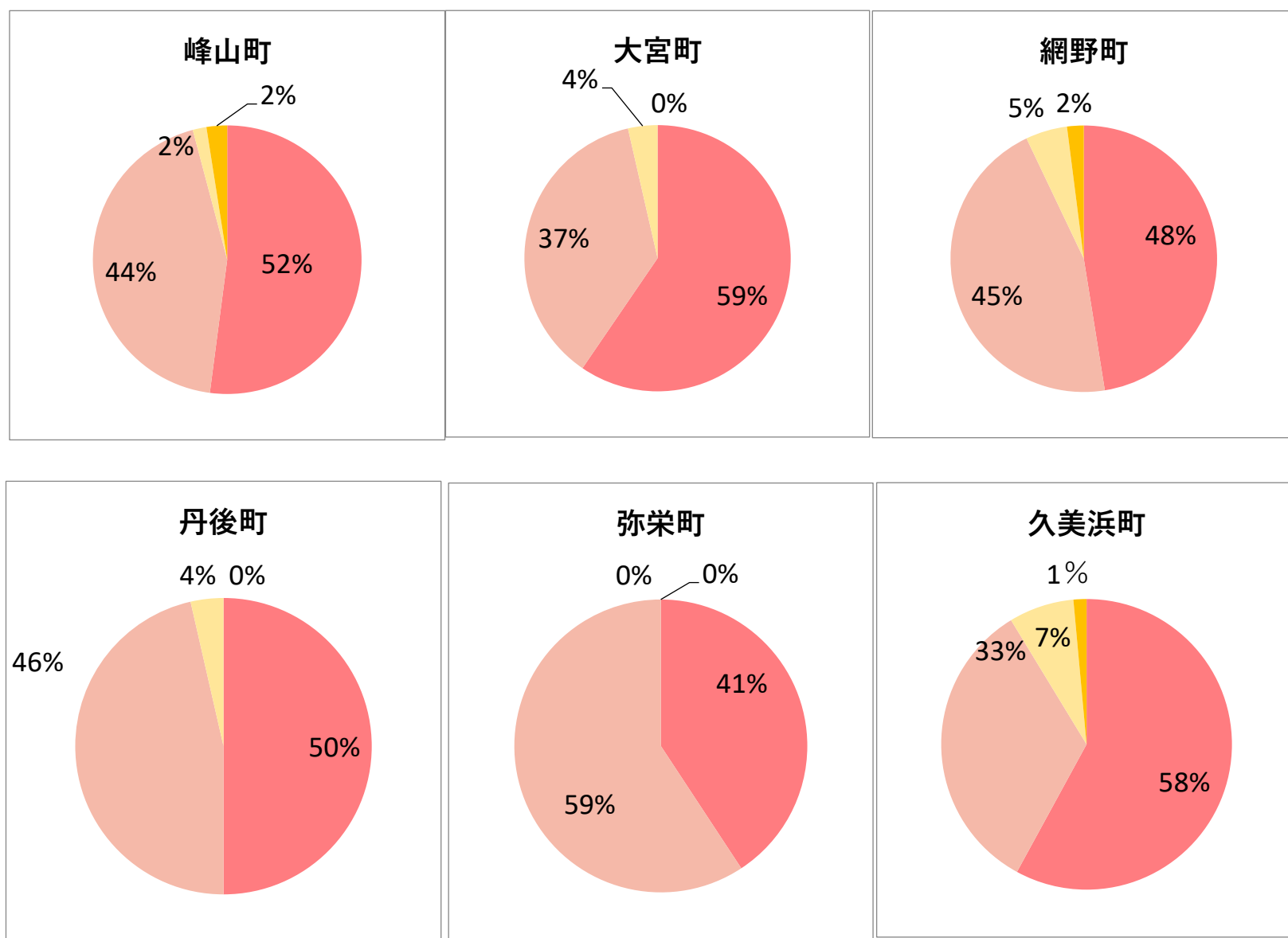
【参考：平成29年度調査分（H30.3月実施）】

H29		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	126	41%	51%	6%	2%
大宮町	97	19%	70%	10%	1%
網野町	147	31%	63%	5%	1%
丹後町	49	49%	39%	12%	0%
弥栄町	49	24%	63%	10%	2%
久美浜町	71	31%	58%	11%	0%
計	539	32%	58%	8%	1%



京丹後市





(2) 京丹後市に住みたいか。

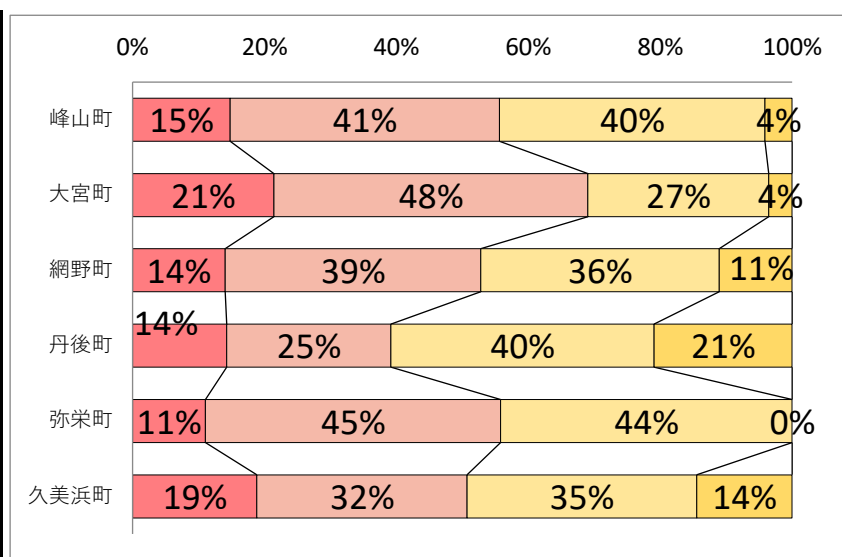
問2 あなたは、社会人になっても、京丹後市に住みたいと思いますか。

“住みたい” が「56%」 “、住みたくない” が「44%」。

中学生の将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかというに住みたい」、「どちらかというに住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

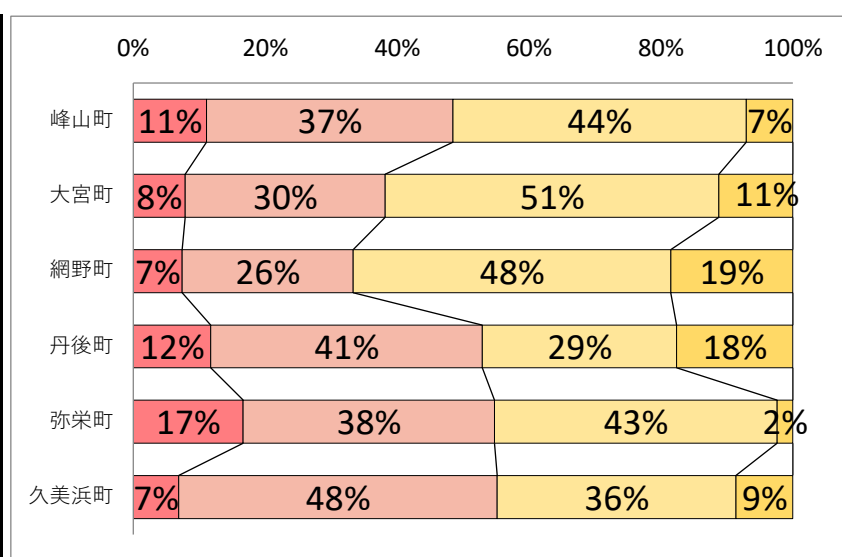
“住みたい”（「住みたい」（17%）、「どちらかというに住みたい」（39%）の合計）と答えた人が、56%で
 “住みたくない”（「住みたくない」（8%）、「どちらかというに住みたくない」（36%）の合計）と答えた人が
44%で “住みたい” の割合の方が12%高い結果になりました。

R2		住みたい		住みたくない	
		56%		44%	
町	集計人数	住みたい	どちらか という 住みたい	どちらか という 住みた くない	住みた くない
峰山町	121	15%	41%	40%	4%
大宮町	84	21%	48%	27%	4%
網野町	99	14%	39%	36%	11%
丹後町	28	14%	25%	40%	21%
弥栄町	27	11%	45%	44%	0%
久美浜町	69	19%	32%	35%	14%
計	429	17%	39%	36%	8%



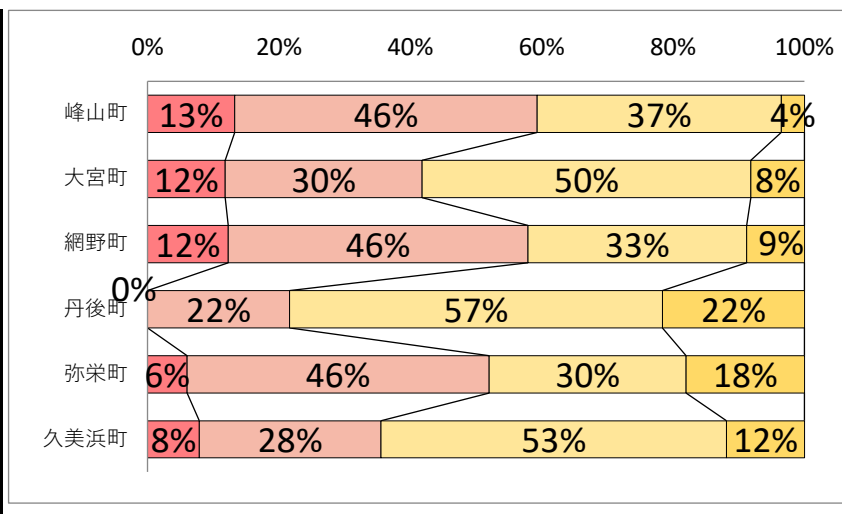
【参考：令和元年度調査分（R1. 11月実施）】

R1		住み続けたい		住み続けたくない	
		44%		56%	
町	集計人数	住み続けたい	どちらか という 住み続けたい	どちらか という 住み続 けたくない	住み続 けたくない
峰山町	99	11%	37%	44%	7%
大宮町	89	8%	30%	51%	11%
網野町	108	7%	26%	48%	19%
丹後町	34	12%	41%	29%	18%
弥栄町	42	17%	38%	43%	2%
久美浜町	58	7%	48%	36%	9%
計	430	10%	35%	44%	11%



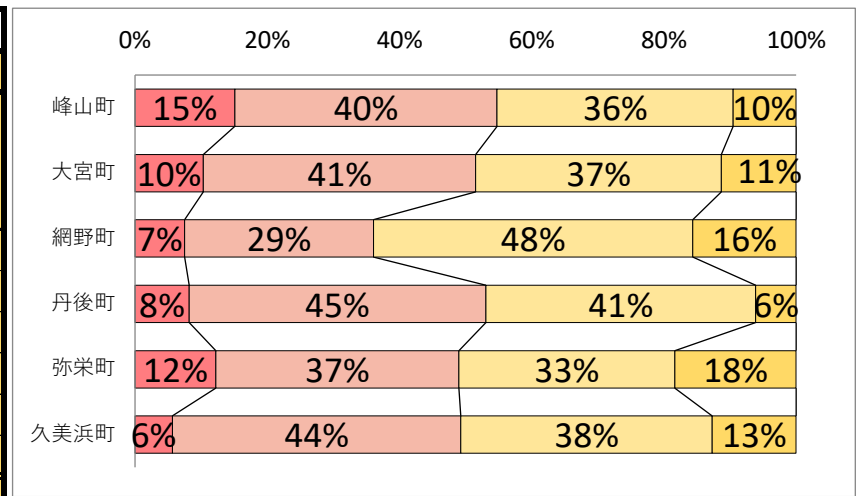
【参考：平成30年度調査分（H30. 12月実施）】

H30		住み続けたい		住み続けたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住み続けたい	どちらか という 住み続けたい	どちらか という 住み続 けたくない	住み続 けたくない
峰山町	113	13%	46%	37%	4%
大宮町	110	12%	30%	50%	8%
網野町	114	12%	46%	33%	9%
丹後町	37	0%	22%	57%	22%
弥栄町	50	6%	46%	30%	18%
久美浜町	76	8%	28%	53%	12%
計	500	10%	38%	42%	10%

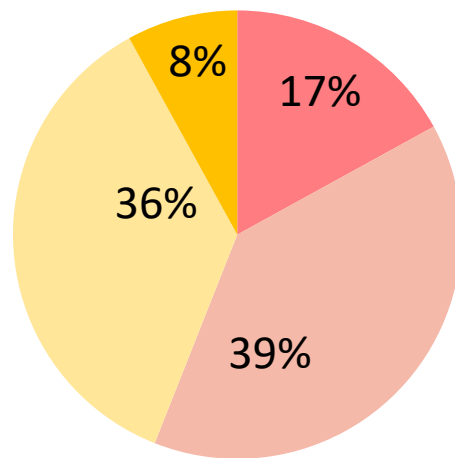


【参考：平成29年度調査分（H30.3月実施）】

H29		住み続けたい		住み続けたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住みたい	どちらかという と住みたい	どちらかという と住みたくない	住みたくない
峰山町	126	15%	40%	36%	10%
大宮町	97	10%	41%	37%	11%
網野町	147	7%	29%	48%	16%
丹後町	49	8%	45%	41%	6%
弥栄町	49	12%	37%	33%	18%
久美浜町	71	6%	44%	38%	13%
計	539	10%	38%	40%	12%

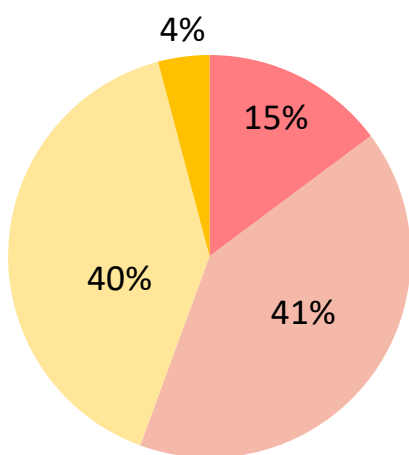


京丹後市

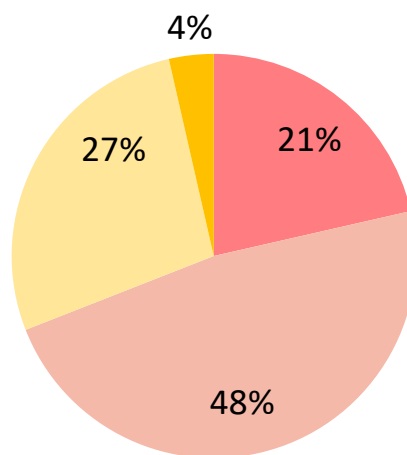


- 住みたい
- どちらかというと住みたい
- どちらかというと住みたくない
- 住みたくない

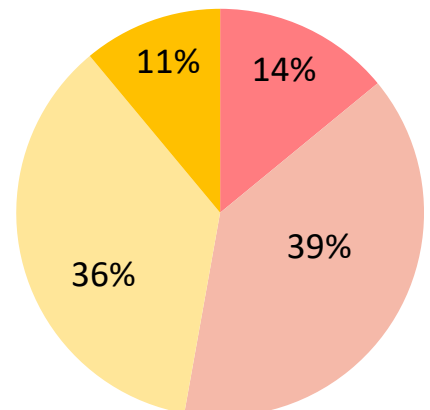
峰山町

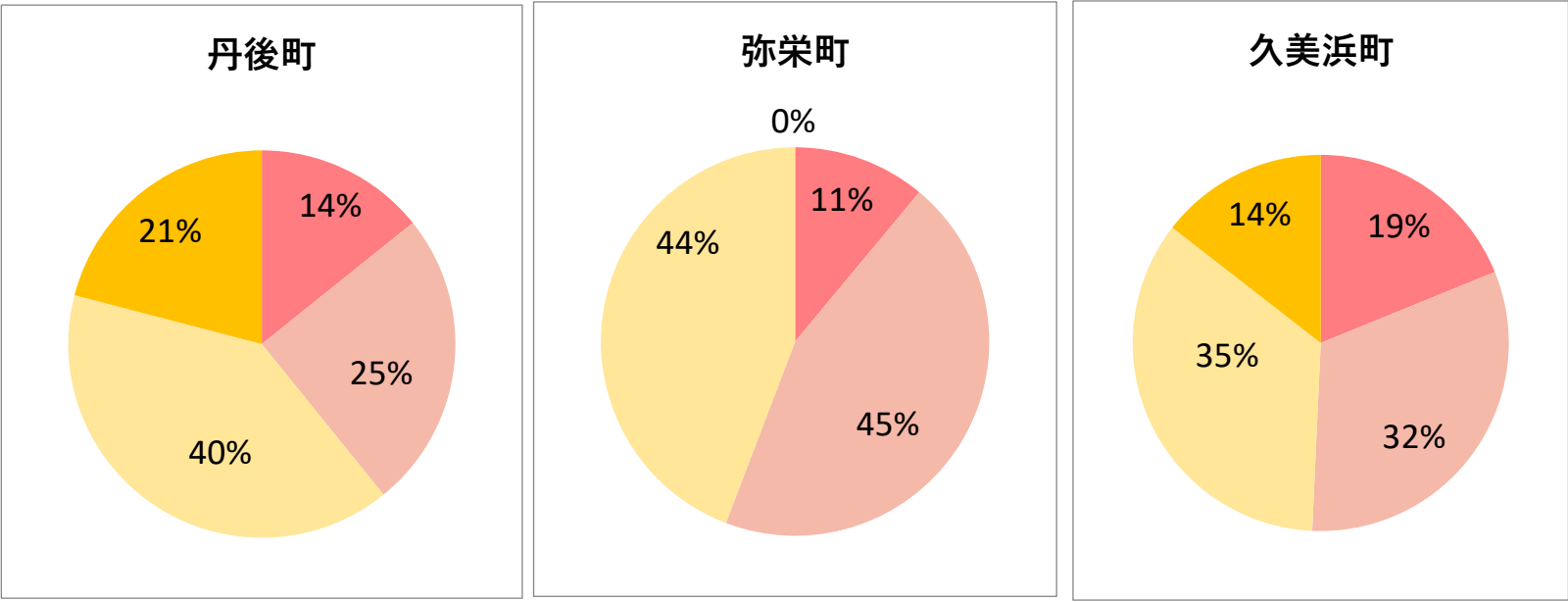


大宮町



網野町





《詳細結果》

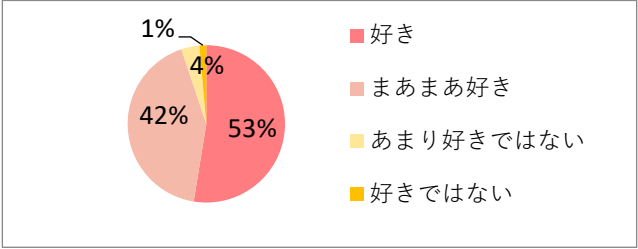
項 目	集計人数	6 町
好き	225	53%
①住みたい	64	28%
②どちらかというに住みたい	100	44%
③どちらかというに住みたくない	55	24%
④住みたくない	6	3%
まあまあ好き	181	42%
①住みたい	4	2%
②どちらかというに住みたい	67	37%
③どちらかというに住みたくない	94	52%
④住みたくない	16	9%
あまり好きではない	16	3.7%
①住みたい	1	6%
②どちらかというに住みたい	1	6%
③どちらかというに住みたくない	6	38%
④住みたくない	8	50%
好きではない	6	1.4%
②どちらかというに住みたい	1	17%
④住みたくない	5	83%
総計	428	100%

峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
28%	22%	21%	6%	5%	18%
25%	27%	22%	6%	3%	17%
25%	24%	21%	5%	4%	21%
36%	16%	24%	4%	7%	13%
33%	0%	0%	50%	0%	17%
29%	17%	25%	7%	9%	13%
25%	50%	0%	0%	0%	25%
36%	21%	27%	3%	12%	1%
29%	13%	22%	10%	9%	18%
6%	19%	38%	13%	0%	25%
13%	19%	31%	6%	0%	31%
0%	0%	0%	0%	0%	100%
0%	100%	0%	0%	0%	0%
33%	33%	33%	0%	0%	0%
0%	0%	38%	13%	0%	50%
50%	0%	33%	0%	0%	17%
100%	0%	0%	0%	0%	0%
40%	0%	40%	0%	0%	20%
28%	20%	23%	7%	6%	16%
121	84	99	28	27	69

(3) 京丹後市が好きですか。

問1 「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」

- 好き 225人
- まあまあ好き 181人
- あまり好きではない 16人
- 好きではない 6人



◇京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査結果

I 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査目的

京丹後市まちづくり委員会の提言に基づき、将来の京丹後市を担う18歳未満を代表して、京丹後市内の高校に通う3年生を対象とした、京丹後市のまちづくりに関するアンケート調査を行い、ふるさとに対する意識、将来の定住や職業への意向、まちづくりに対する意見やアイデアを把握するため実施しました。

(2) 調査対象及び回収結果

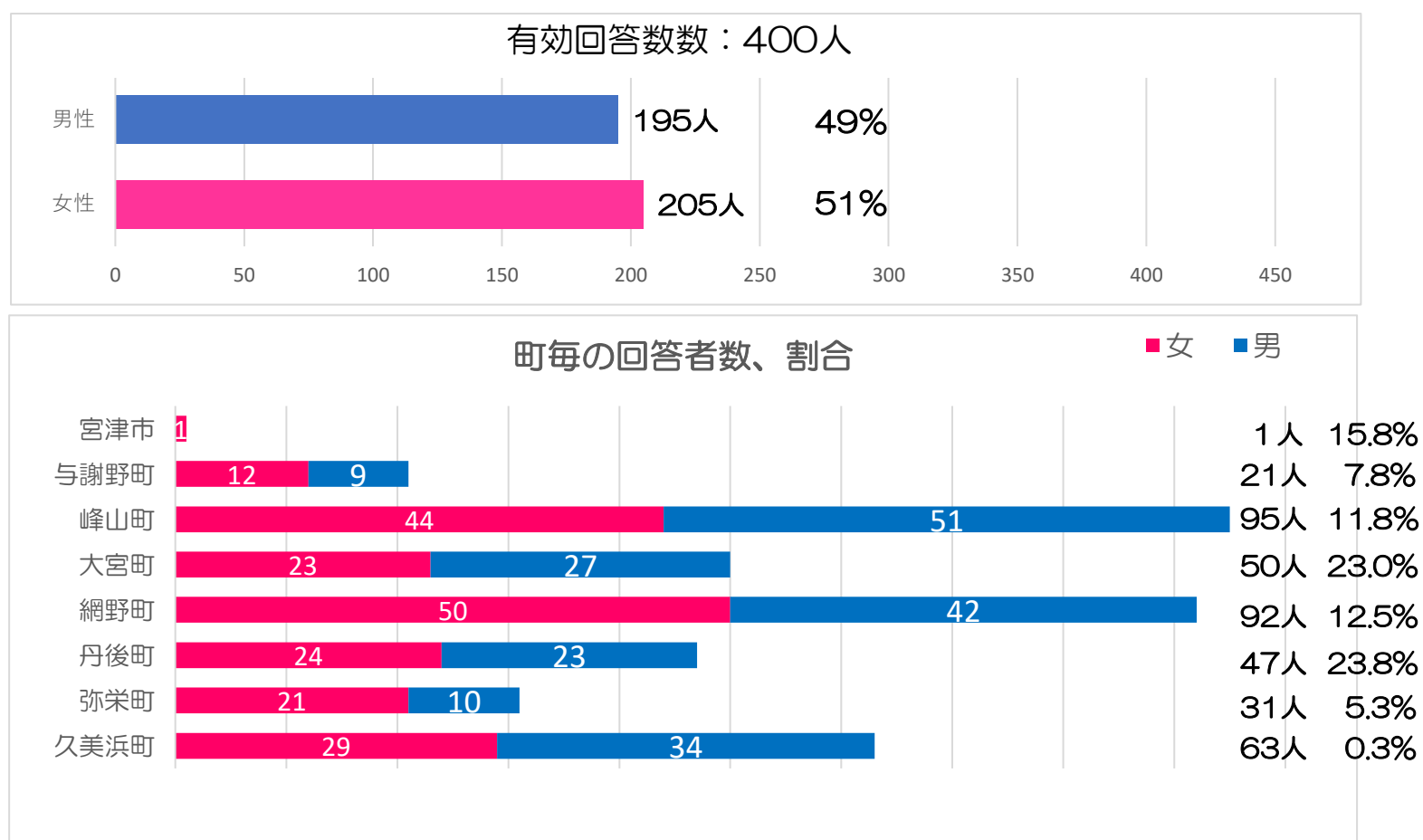
調査対象	市内の高校に在籍する3年生
調査方法	各高校での配布・回収
調査時期	令和2年11～12月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	419 人
有効回答者数	400 人
有効回答率	95.5%

2. 回答者の属性

回答者462人の属性は、「男子：195人」（49%）、「女子：205人」（51%）となっており、町毎の回答人数は以下のとおりとなっております。



Ⅱ アンケート調査結果について

1. 調査結果

(1) 丹後地域が好きか

問 1 あなたは、丹後が好きですか。

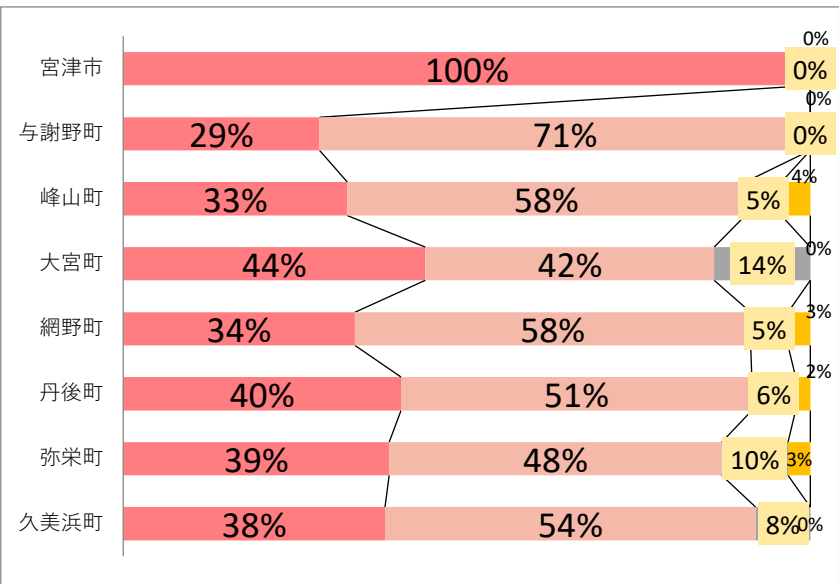
“好き” 「37%」 + “まあまあ好き” 「54%」 = 「91%」
⇒ **9割以上が丹後が好きと回答**

丹後地域に対する愛着度を把握するため、「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「まあまあ好き」と答えた人が54%で最も多く、次いで「好き」と答えた人が37%でした。これらを合わせた**“好き”という人が91%と、9割以上に達しています**。これに対し、**“好きではない”**（「あまり好きではない」（7%）、「好きではない」（2%）の合計）と答えた人は**9%と1割を切っております**。

今年度の高校3年生は、平成29年度に中学3年生を対象に実施した「京丹後市のまちづくりに関するアンケート」に回答いただいた学年であり、3年間での愛着度の変化を比較したところ、「好き」「まあまあ好き」を合わせた回答者の割合は91%で3年間による変化はございません。しかし、「好き」と回答した人の割合は5%増え、**愛着度の強さは高くなった**と考えられます。

R2		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
宮津市	1	100%	0%	0%	0%
与謝野町	21	29%	71%	0%	0%
峰山町	95	33%	58%	5%	4%
大宮町	50	44%	42%	14%	0%
網野町	92	34%	58%	5%	3%
丹後町	47	40%	51%	6%	2%
弥栄町	31	39%	48%	10%	3%
久美浜町	63	38%	54%	8%	0%
計	400	37%	54%	7%	2%

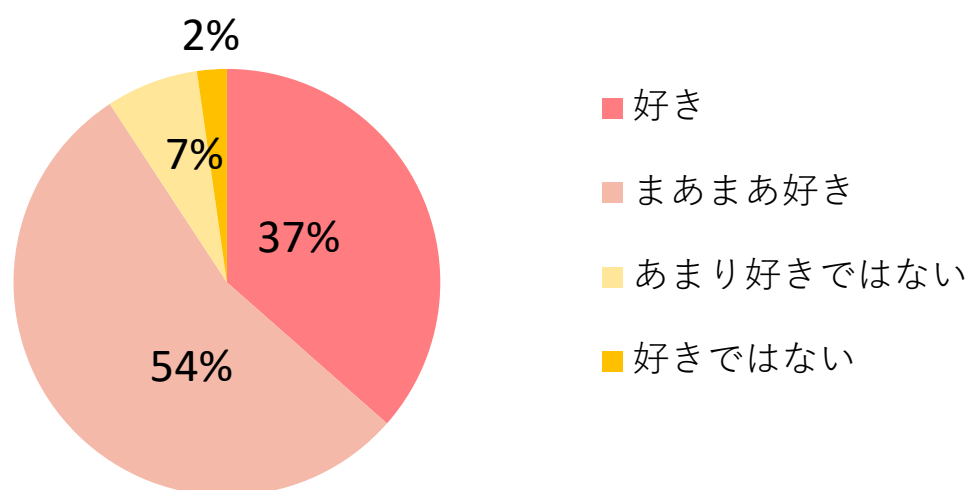


現在の高校3年生が3年前（中学3年生）の時に回答した同内容のアンケート結果
【平成29年度調査分（H30.3月実施）】

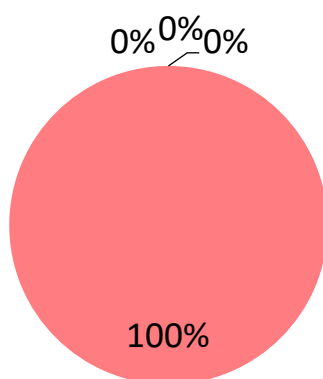
H29		好き		好きではない	
		91%		9%	
町	集計人数	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
峰山町	126	41%	51%	6%	2%
大宮町	97	19%	70%	10%	1%
網野町	147	31%	63%	5%	1%
丹後町	49	49%	39%	12%	0%
弥栄町	49	24%	63%	10%	2%
久美浜町	71	31%	58%	11%	0%
計	539	32%	58%	8%	1%

中学3年時		高校3年時	
好き		好き	増減
峰山町	92%	91%	-1%
大宮町	89%	86%	-3%
網野町	94%	92%	-2%
丹後町	88%	91%	3%
弥栄町	87%	87%	0%
久美浜町	89%	92%	3%
計			0%

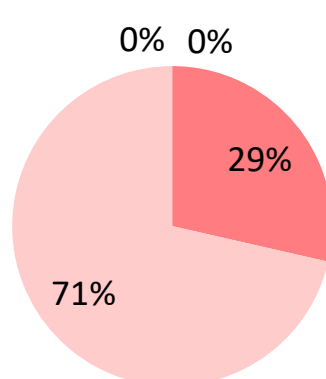
丹後地域



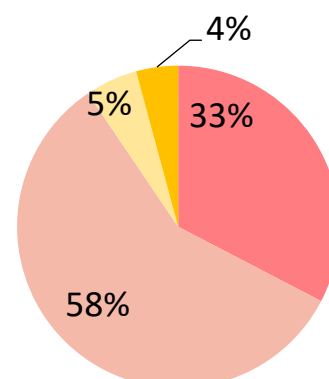
宮津市



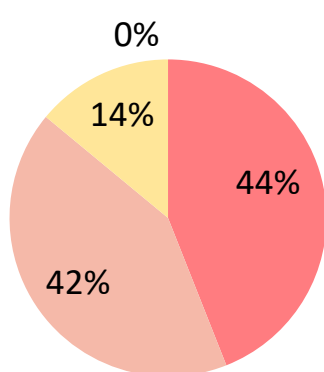
与謝野町



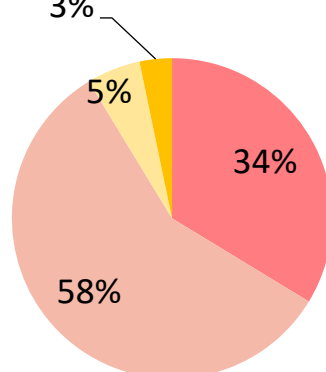
峰山町



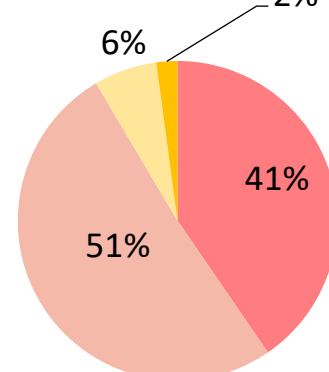
大宮町



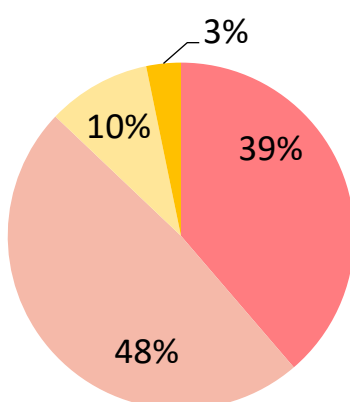
網野町



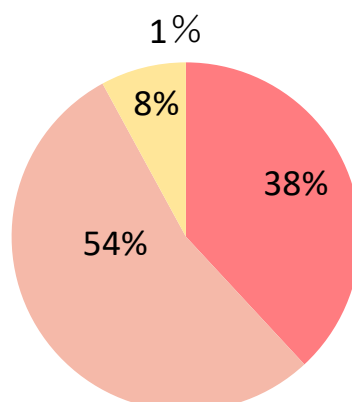
丹後町



弥栄町



久美浜町



(2) 丹後地域に住みたいか。

問2 あなたは将来的に丹後地域に住みたいと思いますか。

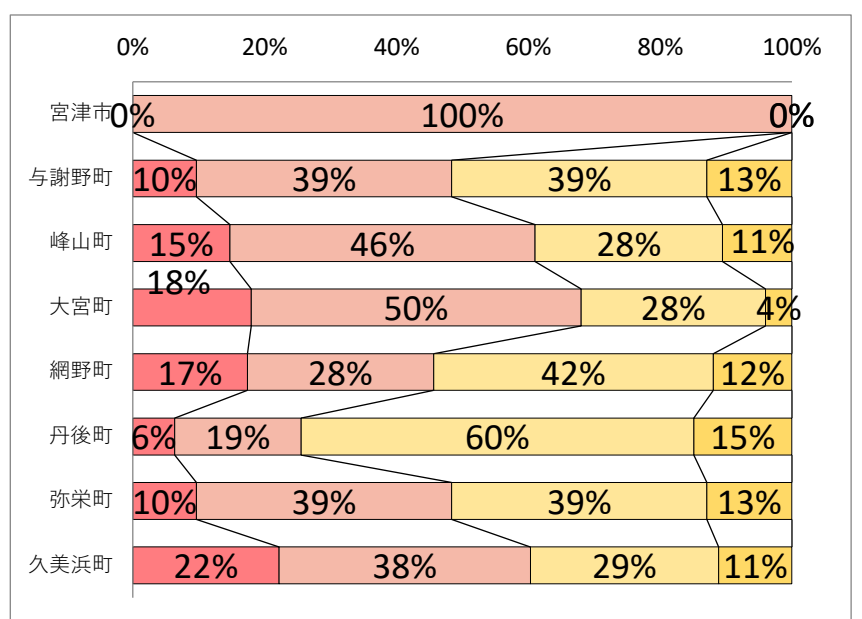
“住みたい”が「52%」「住みたくない」が「48%」。

高校生の将来の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかというに住みたい」、「どちらかというに住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

“住みたい”（「住みたい」（15%）、「どちらかというに住みたい」（37%）の合計）と答えた人が、52%で5割以上が将来への定住意向がある結果となりました。また、“住みたくない”（「住みたくない」（11%）、「どちらかというに住みたくない」（37%）の合計）と答えた人が48%で“住みたい”の割合の方が高い結果となりました。

また中学3年生時には「住みたい」「どちらかというに住みたい」を合わせた回答者の割合は48%でしたが、高校3年生までの3年間で4%増加し、52%の学生が「住みたい」という意向を示し、過半数を超える結果となりました。

R2		住みたい		住みたくない	
		52%		48%	
町	集計人数	住みたい	どちらかというに住みたい	どちらかというに住みたくない	住みたくない
宮津市	1	0%	100%	0%	0%
与謝野町	21	10%	39%	39%	13%
峰山町	95	15%	46%	28%	11%
大宮町	50	18%	50%	28%	4%
網野町	92	17%	28%	42%	12%
丹後町	47	6%	19%	60%	15%
弥栄町	31	10%	39%	39%	13%
久美浜町	63	22%	38%	29%	11%
計	400	15%	37%	37%	11%



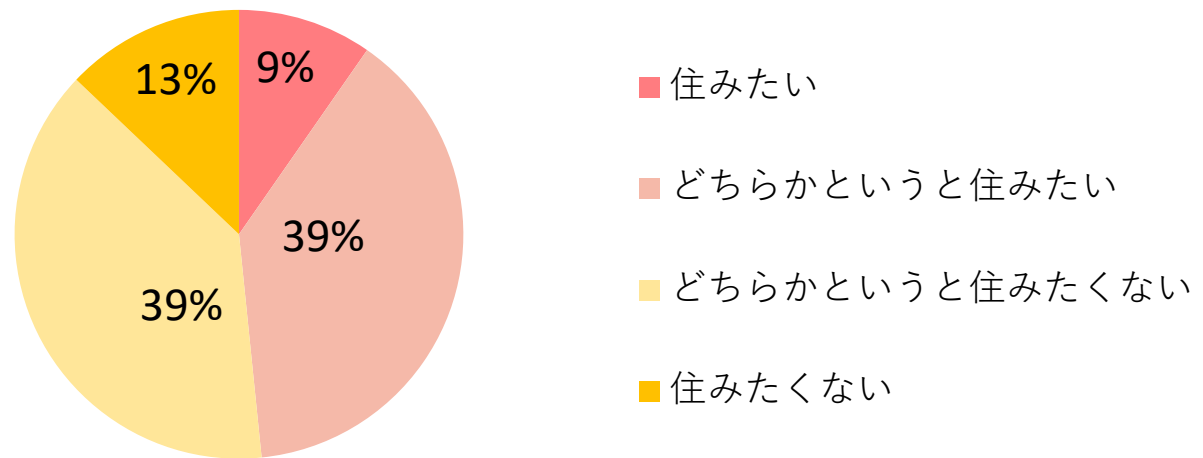
現在の高校3年生が3年前（中学3年生）の時に回答した同内容のアンケート結果

【平成29年度調査分（H30.3月実施）】

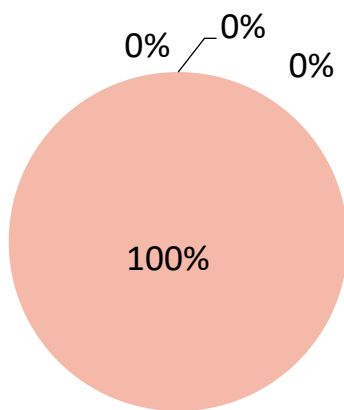
H29		住みたい		住みたくない	
		48%		52%	
町	集計人数	住みたい	どちらかというに住みたい	どちらかというに住みたくない	住みたくない
峰山町	126	15%	40%	36%	10%
大宮町	97	10%	41%	37%	11%
網野町	147	7%	29%	48%	16%
丹後町	49	8%	45%	41%	6%
弥栄町	49	12%	37%	33%	18%
久美浜町	71	6%	44%	38%	13%
計	539	10%	38%	40%	12%

中学 3 年 時		高校 3 年 時	
住みたい		住みたい	増減
峰山町	55%	61%	6%
大宮町	51%	68%	17%
網野町	36%	46%	10%
丹後町	53%	25%	-28%
弥栄町	49%	49%	0%
久美浜町	50%	60%	10%
		計	15%

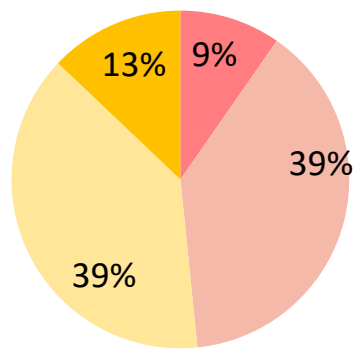
丹後地域



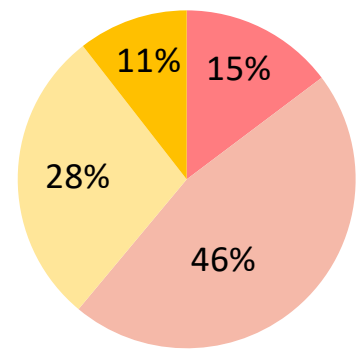
宮津市



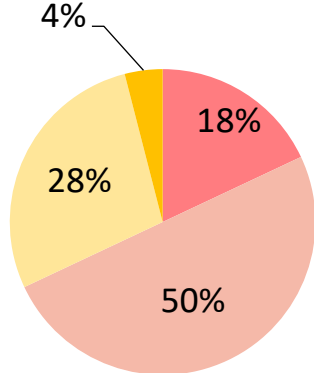
与謝野町



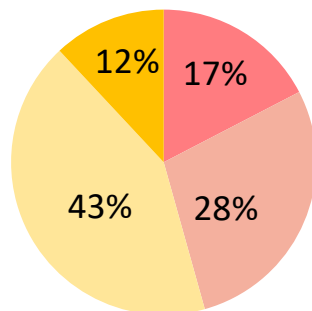
峰山町



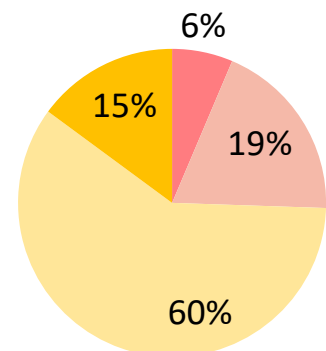
大宮町



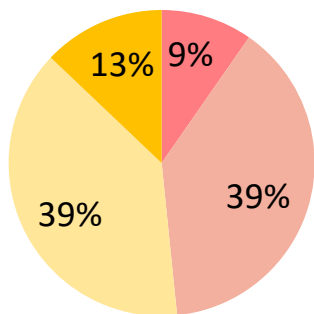
網野町



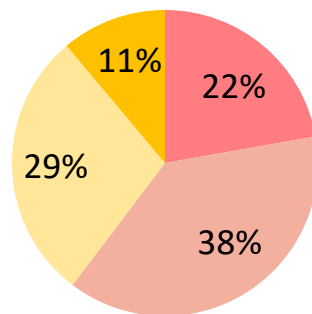
丹後町



弥栄町



久美浜町



《詳細結果》

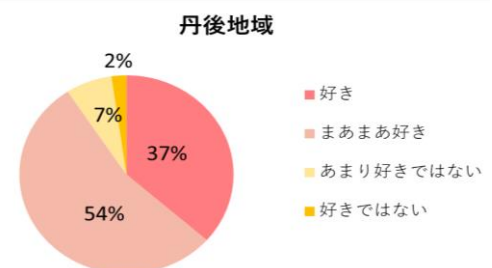
項 目	集計人数	6 町＋ 宮津市 ＋与謝 野町
好き	146	37%
①住みたい	48	33%
②どちらかというに住みたい	62	42%
③どちらかというに住みたくない	31	21%
④住みたくない	5	3%
まあまあ好き	217	54%
①住みたい	12	6%
②どちらかというに住みたい	83	38%
③どちらかというに住みたくない	98	45%
④住みたくない	24	11%
あまり好きではない	28	7%
②どちらかというに住みたい	5	18%
③どちらかというに住みたくない	17	61%
④住みたくない	6	21%
好きではない	9	2%
①住みたい	2	22%
④住みたくない	7	78%
総計	400	100%

宮津市	与謝野町	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
1%	5%	17%	15%	12%	21%	21%	8%
0%	4%	21%	17%	6%	21%	25%	6%
2%	6%	21%	16%	8%	31%	10%	6%
0%	3%	3%	10%	26%	3%	42%	13%
0%	0%	20%	20%	20%	20%	0%	20%
0%	7%	16%	10%	11%	25%	25%	6%
0%	8%	42%	0%	0%	17%	33%	0%
0%	8%	13%	14%	5%	30%	20%	8%
0%	6%	16%	8%	17%	22%	26%	4%
0%	4%	13%	4%	13%	25%	33%	8%
0%	0%	21%	21%	14%	18%	14%	11%
0%	0%	0%	60%	0%	0%	40%	0%
0%	0%	12%	18%	12%	29%	12%	18%
0%	0%	67%	0%	33%	0%	0%	0%
0%	0%	0%	0%	11%	56%	22%	11%
0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%
0%	0%	0%	0%	14%	43%	29%	14%
0%	6%	17%	12%	12%	24%	23%	7%

(3) 丹後が好きですか。

問 1 「好き」、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「好きではない」

好き	146人
まあまあ好き	217人
あまり好きではない	28人
好きではない	9人



問 1－1 その理由（自由記述） ※主な回答

＜好き＞	146人
●自然が豊か、きれいだから	70
●地域の人が優しい、あたたかい、親切	20
●食べ物（米、野菜、果物）がおいしい	42
●空気がきれい	6
●静かなところ	7
●田舎だから	7
●地元だから	4
●今の生活が楽しいから	2
●落ち着くから	13
●友達がいっぱいいるから	

網野庁舎跡地活用構想(提言)

令和2年3月16日

網野町区長連絡協議会

< 基本構想 目次 >

○ 趣旨・経緯	 1
○ 跡地及び周辺図	 2
○ 検討の経過	 3～5

■ 提言内容

・ 現状認識	 6
・ 2年を超える議論の総括 ～コンセプト・基本方針～	 7
・ 検討アプローチ（項目別）	 8
・ エリアと施設の捉え方	 9
・ 住民がまちづくりに果たしていくスキーム	 10
・ 施設整備年度計画	 11
・ 市民交流広場 「スペースあみラボ」	 12～14
・ 市民交流センター 「コフーン」	 15
・ 「コフーン」の施設概要	 16
・ 「コフーン」の機能構成図	 17～18
・ あみラボ実行委員会の今後について	 19

網野庁舎跡地活用整備基本構想

趣 旨

昭和43年に竣工した旧網野町役場は、網野町の中心に位置し、網野町の核として多くの人から愛され、利用されました。

この跡地において、丹後ちりめんの産地として栄えた歴史的経緯やまちの将来像を踏まえつつ、地域の活性化に繋がる拠点施設を整備するための基本的な考え方を明らかにするものです。

経 緯

- S43. 6 網野町役場竣工
- H16. 4 京丹後市政スタート
- H29. 11 上下水道部が網野庁舎本館から丹後庁舎に移転
- H30. 2 網野町区長連絡協議会から市長に要望書（本庁機能を残すこと等）を提出
- H30. 3 商工観光部が網野庁舎別館からら・ぽーとに移転
- H30. 4 網野町区長連絡協議会から議会議長に要望書を提出
- H30. 4 網野町区長連絡協議会の内部に「庁舎・跡地検討チーム」を発足させる
- H30. 6 網野町区長連絡協議会が射水市役所視察（富山県）
- H30. 9 網野町区長連絡協議会が城崎国際アートセンター視察（豊岡市）
- H30. 12 「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみラボ（あみのみんなのスペース未来ラボ）を発足させる
- R 1. 6 網野町区長連絡協議会が一般社団法人青蓮寺・百合が丘市民センター視察（三重県名張市）
- R 1. 7 あみラボワークショップを開催（延4回）
- ？
- R 1. 10 一般参加者延べ100名（高校生～90歳代まで）
- R 1. 11 本館及び別館一部の解体工事開始
- R 2. 3 網野町区長連絡協議会が住民の声に耳を傾け、多くの意見を反映させた跡地活用整備基本構想をまとめる。
- 網野町区長連絡協議会が市長に提言書を提出
- R 2. 7 解体工事終了予定 ⇒ 約6000㎡がさら地に

旧網野庁舎本館



跡地及び周辺図

※ 別館も含め、
跡地として
みなした場合



検討の経過

＜網野町内では初の試み＞

網野の将来について考えるこの取組を契機とし、あみラボワークショップの開催など一連の活動が、まちづくりに主体的に関わる人材育成の場になるなど、単に議論を交わす場ではないものに成長してきています。

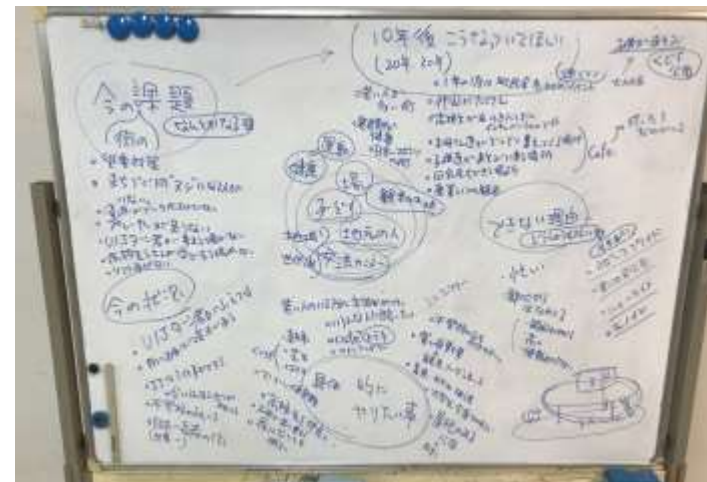
これまで、網野町内では、将来のまちづくりに関して世代を問わず、多くの老若男女が集い、網野町への想いについて議論を交わす機会がなかったことから、初の試みとなりました。

今後は、この活動を弾みとし、あみラボ実行委員会をさらに発展させ、引き続き、住民が主体的に関わるまちづくりの実践に向け、取り組みを進めます。

検討の経過

(1) 住民が参加するワークショップの準備

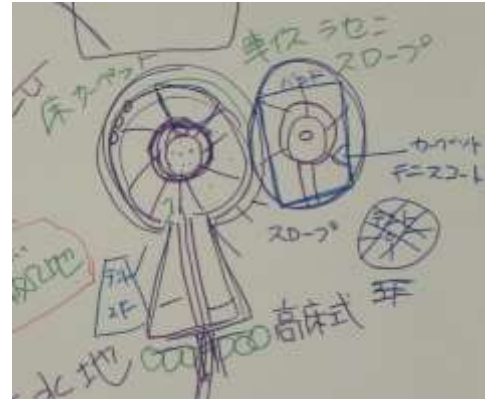
あみラボ実行委員会を延 16 回開催 ➡ 将来を語るエンジンルームに成長中



検討の経過

(2) 住民の声に耳を傾け、多くの声を拾う

あみラボワークショップを延4回開催 → 老若男女が集い、語らう場が拡大



一般参加者

延べ100名（高校生～90歳代まで）

※アンケート調査も実施

網野町区長連絡協議会での2年間に及ぶ協議 → 住民の声を聴き、まとめた



提言内容

網野庁舎跡地活用整備基本構想

現 状 認 識

対応が急務な

市の課題

- 1 つながりの希薄化（人口減、独居世帯増、核家族化、未婚率増、スマホの中毒化、団体スポーツの衰退）
- 2 若者の離町の進行（就きたい職業減、担い手不足、つながり・しきたりからの解放、都市部へのあこがれ）
- 3 市街地の空洞化（地価下落、大規模店の郊外出店、幼保小中高の再配置による通学・送迎の距離と負担増、空き地、空き家・空き店舗の増加、土地再利用の停滞）

その解決へ向けた

網野の強み

- 1 市街地の一等地の出現（網野庁舎本館解体による一等地の出現は土地再利用にとって千載一遇）
- 2 既存施設との相乗効果（金融、配送、地場産品販売、小規模店、医療機関、市役所・図書館・体育センター等）
- 3 都市機能を有すところ（域内・域外を結ぶ交通の拠点となる潜在機能を兼ね備えている立地であること）

京丹後市の「課題解決における公費負担の投資効果を最大限発揮できるエリア」である



計4回、延100名が参加し、跡地活用について議論を交わした「あみのみんなのスペース未来ラボ（通称:あみラボ）」でのワークショップ

網野庁舎跡地活用整備基本構想

2年を超える議論の総括

コンセプト

「繋がる」

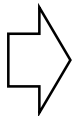
① ひととひとが繋がっている



幼少期から、どれだけ、友達、仲間、家族と関わり合いを持って育ってきたか。

その積み重ねが、若者が故郷に帰る大きな原動力になる。

小さなふれあいが、郷土愛と支え合い（愛）を育むことに繋がる。



② まちとまちが繋がっている



町内の
各集落と

市内の
主要地と



市外の
主要地と

基本方針

コミュニケーションが生まれる場の創造

◎オープンなワクワクする交流広場

1. 地域がにぎやかになる空間
2. 老いも若きも集い語らえる空間
3. 子育てを応援する空間
4. まちの光を発信する空間

整備

・市民交流広場
「スペースあみラボ」

・市民交流センター
「コフーン」

③ ひととまちと歴史が繋がっている



銚子山古墳からの眺望と
網野の市街地周辺（昭和）



国指定史跡として公園整備が進む
網野銚子山古墳

網野庁舎跡地活用整備基本構想

検討アプローチ（項目別）

▽一体性

各種機能は、
周辺エリアを一体として
捉え、相互に補完し、
相乗効果を見出す。

▽地域性

網野神社、銚子山古墳
嶋児神社、離湖
八丁浜シーサイドパーク
琴引浜、夕日ヶ浦
子午線塔、磯街道
等の観光地等を巡る
「散策・サイクリング」
コースの拠点に。

▽機能性

- ・親子で遊べる
- ・雨の日でも遊べる
- ・夜でも明るい
- ・防災
- ・障害のある人も
- ・世代間交流ができる
- ・そこに行けば誰かがいる
- ・スポーツもできる（公園）
- ・観光の人も（交流人口）
- ・快適、衛生的
- ・ユニバーサルデザイン

▽環境性

- 環境に調和した施設づくり
- ・敷地内を積極的に緑化
 - ・建築物は木造
 - ・隣接空き工場を購入・解体
※廃屋化が進行中



エリアと施設の捉え方

市民交流広場のエリアの総称

：「**スペースあみラボ**」

＜住民の願い＞

地域の核となり、網野のにぎわいの起点として、
住民が育て、関わり続ける交流広場とする

＜名称の由来＞

まちづくりの**研究所 (Laboratory)** として、将来にわたり、住民自らが地域課題を解決するための実践を行うエリアと位置付ける

市民交流センターの施設の総称：**コフーン**

＜施設に対する住民の願い＞

明るい網野の未来を開き、
世代間交流を生み、まちづくりを進める交流施設

＜名称の由来＞

「コフーン」とは、「コクーン(繭)と古墳(墓)」とを合わせた造語。
繭は母親に宿った胎児を意味し、墓は人の死を意味することから、「コフーン」とは人の一生を表す言葉となり、全ての老若男女があまねく集う場所となることを願う施設である。また、繭は地場産業の絹織物・丹後ちりめんの象徴と言え、古墳は日本海側最大の前方後円墳で網野町のシンボリック存在である網野銚子山古墳をあらわすことから、「コフーン」は施設名としてふさわしい。

跡地一帯及び建物全体を
有効かつ機能的に
使用するための要望事項

- ①建設部及び付属する車庫の移転と取り壊し
- ②消防車庫の移転と取り壊し
(保健センター前の築山を撤去して移転)
- ③旧織物工場の敷地の購入



住民がまちづくりに責任を果たしていくスキーム

(現 実)

- 住民が
- ・まちづくりに無関心
 - ・設計や企画面で関わる機会もない
 - ・誰も旗振り役になりたがらない

↑
行政が頼み込んだ時は、
「何それ、興味ないよ」で
時すでに遅し

↓
結果、何も生まれず、
継続性がなくなった上、
建物(ハード)だけが残るリスク大

施 策

- ①あみラボ実行委員会の組織再編
企画・設計者等の追加募集
- ②地域づくりの専門家を招へい
議論から運営までの監督・指南

(理 想)

- 住民が
- ・まちづくりに関心を持ち
 - ・設計や企画面で関わる機会があり
 - ・旗振り役になりえる候補者が現れる

↑
行政が公募をかけた時は、
「ぜひ、関わりたいです」で
最適で熱量が高い旗振り役が現れる

↓
結果、何か新しい動きが生じ、
継続性が保たれ、後継者育成につながった上、
住民サービスが向上し、活気にぎわう

ギャップ

この乖離を
埋めるのは
施策



公費の
有効活用

議論→企画・設計→運営までの思いが、最後まで噛み合うとまちづくりのエンジンがまわる

施設整備年度計画

令和2年度 : ソフト機能の検討



令和3年度 : 基本計画策定



令和4年度 : 実施計画策定



令和5～6年度 : 工事実施



令和6年度末 : 工事竣工



令和7年度 : 施設オープン

「各種団体」×「あみラボ」×「行政」との協働まちづくり

① 市内サークル、団体等と協議開始（4つの空間）

- 地域がにぎやかになる空間
- 老いも若きも集い語らえる空間

- 子育てを応援する空間
- まちの光を発信する空間

■ 市民交流広場「スペースあみラボ」

- ・屋根付き遊具
- ・3×3バスケットコート
- ・スポーツライミング施設
- ・緑化スペース（桜、紅葉）
- ・芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース
- ・駐車場
- ・駐輪場
- ・バスターミナル ほか

■ 市民交流センター「コフーン」

- ・老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース
- ・学習サポート
- ・IT活用
- ・イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- ・子育て応援、母親交流スペース
- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・乳幼児コーナー等
- ・銚子山古墳を望む展望台

② 運営の体系的な整理

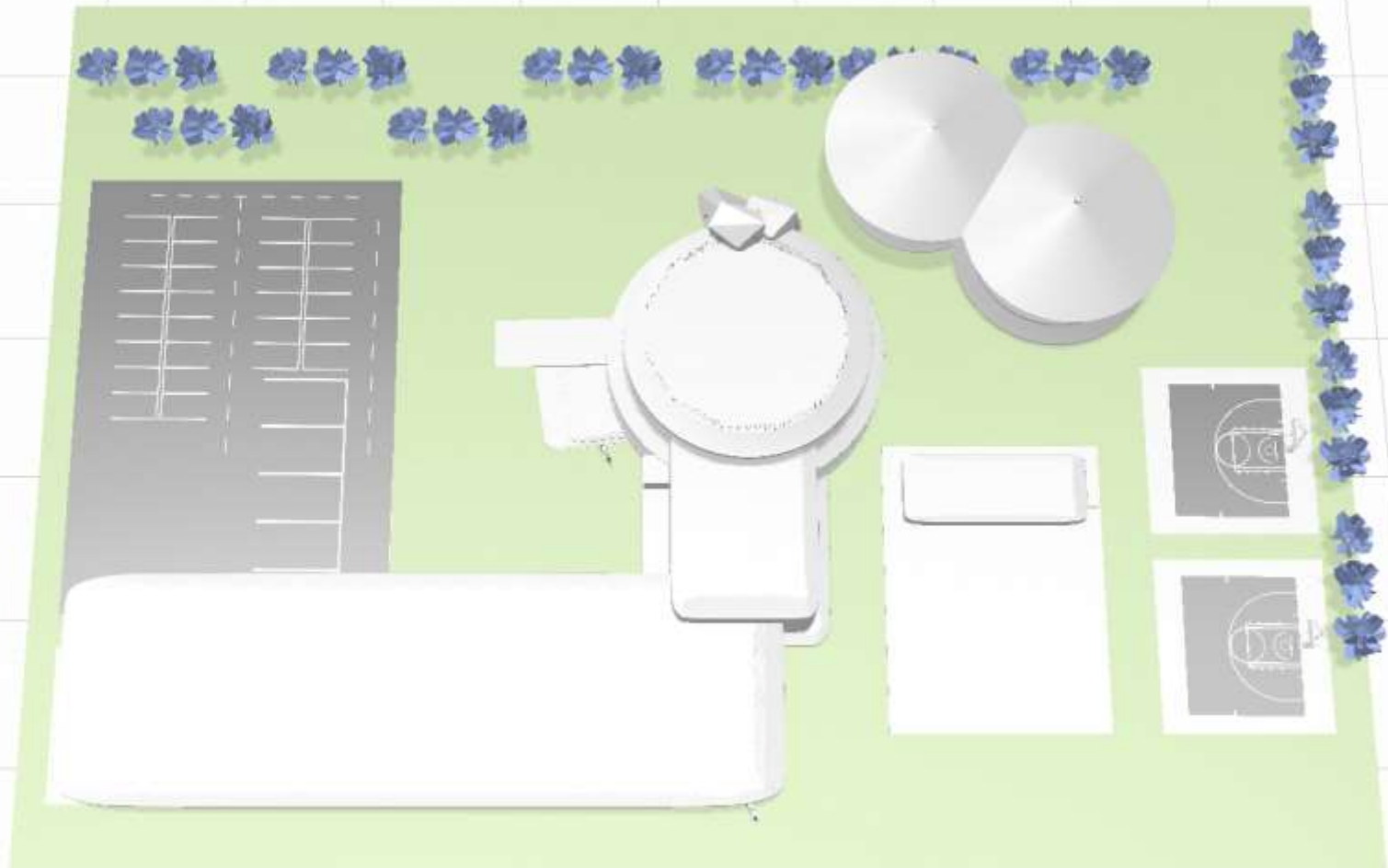
- 市としての施策の位置づけ
- 行政課題及び地域課題を解決するための協働方策
- 公費負担と受益者負担のあり方

③ 運営管理者の公募・選定

④ 運営開始

市民交流広場 「スペースあみラボ」

- ・交流広場「スペースあみラボ」
- ・交流センター「コフーン」 ※網野銚子山古墳の1/5サイズを再現
- ・屋根付き遊具、3×3バスケットコート、スポーツクライミング施設、
- ・緑化スペース(桜、紅葉)、芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース、駐車場、駐輪場、バスターミナルほか



市民交流広場 「スペースあみラボ」



市民交流広場 「スペースあみラボ」



市民交流センター「コフーン」

＜施設名称:コフーン＞



「コフーン」の施設概要

施設概要

- ・建物の平面形を前方後円墳の形とし、その規模は銚子山古墳(全長200m)の五分之一で計画する。
- ・木造一部2階建て(後円部側が2階、前方部側が1階)とする。
 - 1階は、イベントブース・交流スペース(学習サポート)・子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)・ITコーナー
管理事務室(ガイド待機場所)・
公募スペース(例:カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、布団が洗えるコインランドリー)・トイレ・階段・エレベーター
 - 2階は、音楽スタジオ・You Tubeスタジオ、絵画制作スペース・学習スペースのほか交流スペース
 - 屋上に銚子山を望む展望台を設置する。
 - 延床面積約1,200㎡
※なお、これらの活用については今後も市民からの意見を聴取し反映させていくもので、確定的なものではない。

ソフト機能

- 地域がにぎやかになる空間
老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース、学習サポート、IT活用
- 老いも若きも集い語らえる空間
イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- 子育てを応援する空間
子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)
- まちの光を発信する空間
展望台から銚子山古墳を望む
街角観光の基地(電動自転車によるガイド案内) ※地域の文化や暮らしに入っていける観光
例:長寿を願う浦島太郎史跡巡り(銚子山・しわえのき・網野神社・嶋児神社・福島・六神社・こころの森美術館)

その他の課題

- 施設の管理運営については、隣接するあみの図書館、保健センター、アミティ丹後、体育館との緊密な連携を図るとともに、旧幼稚園の建物及び敷地の活用については今後も検討を行っていく。

「コフーン」の機能構成図(1F)

<建屋1F>

※モチーフ: 銚子山古墳(前方後円墳)

①イベントスペース(曜日、時間帯で利用対象者が変わる)

<対象:一般>

○屋内イベント活動

- ・ミニ教室の開催(趣味発見、生きがい発見)
- ・展示スペース
- ・その他

②交流スペース

<利用時間>

春・夏・冬休み期間
及び平日の夕方

<目的>

学習サポート

<対象:一般>

- 国際交流
- 語学交流
- 文化交流

③子育て応援

スペース

(絨毯)

- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・お母さん達のおしゃべり交流相談コーナー

④母親交流スペース(絨毯)

- ・授乳室
- ・お昼寝ベッド

⑥ITコーナー

- ・プログラミング学習
- ・You Tube(ユーチューブ)スタジオ

⑦トイレ
(男・女)

⑩管理事務室
兼レンタルサイクル
ガイド待機場所

階段

入口

18m

14m

⑧公募
スペース

カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、
コインランドリーなど

⑨公募
スペース

(その他)
エレベーター

⑤憩いの広場

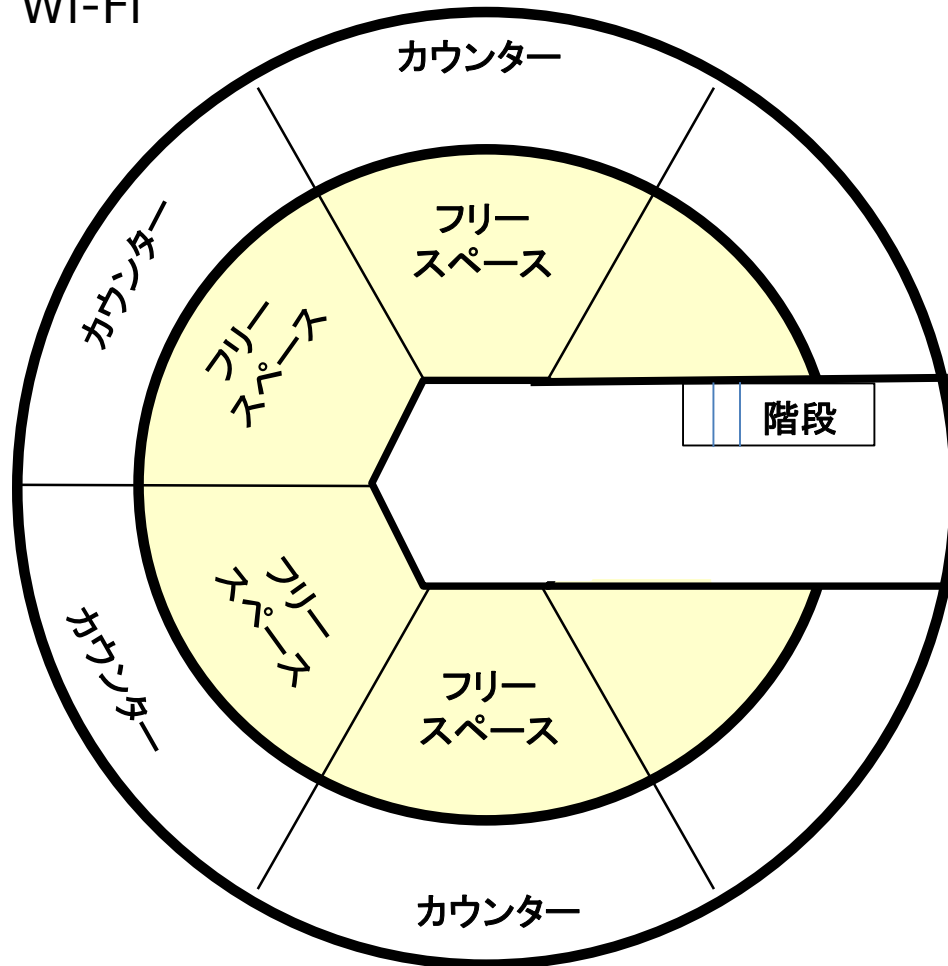
⑤憩いの広場
<対象:一般>
○休憩スペース

40m

「コフーン」の機能構成図(2F、屋上、屋外)

<建屋2F>

- ・フリースペース(可動式間仕切り)
音楽スタジオ、学習スペース等
- ・カウンター(充電コンセント付き)
- ・Free Wi-Fi



<建屋屋上>

- ・展望台(銚子山古墳を望む)

<屋外>

- ・屋根付き遊具・公園
- ・緑化(芝生、木、花)
- ・ベンチ
- ・夜間照明
- ・スポーツクライミング
- ・3×3(バスケ)コート
片面(2面)
- ・カフェ
- ・朝市
- ・駐輪場
- ・バスターミナル

あみラボ実行委員会の今後について

あみラボ実行委員会は、本構想の作成をもって終了するものではなく、施設の実施計画や完成後の施設運営についても検討していくこととして、新メンバーも加えた体制で継続して今後も開催していくこととする。

そのために、これまでと同様に市行政からの人的、経済的支援を要望します。